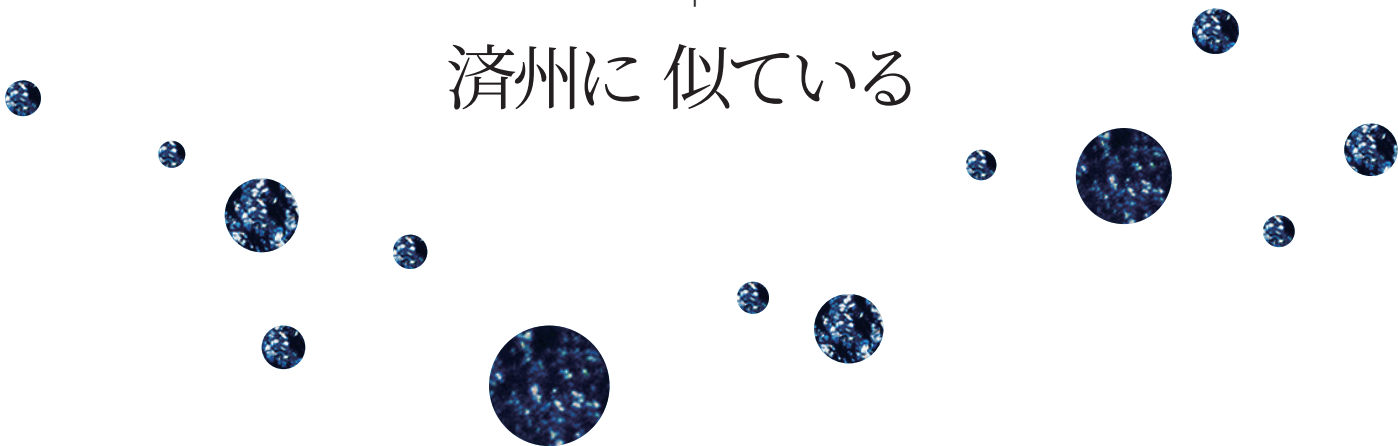




世界を 含む
JDC らしい
濟州に 似ている



風の島、済州。

海の向こうから吹いてくる平和の風を受け入れ、

済州の山と海は一段と美しく漂います。

心身ともにリラックスできる場所、

知識の塔を積み重ね、世界のリーダーを育てる場所、

ユニークで美しい伝統と文化が咲き誇る島、済州。

JDCは、世界を含む済州の未来を夢見ます。

済州の風が深まります。

JDC to The — World

済州の夢は変化の風を呼び、変化の基準になります。

済州の未来は、大韓民国の未来であり、世界の未来になります。

先端科学、教育、医療、観光、クリーン産業などの様々な分野において、強固なインフラを造成しました。

今JDCが起こす風は、済州のために済州の価値を促進し、成長と保存が調和する国際都市を造成します。

済州は変化しています。済州のよりよい未来のためJDCが共に努力します。

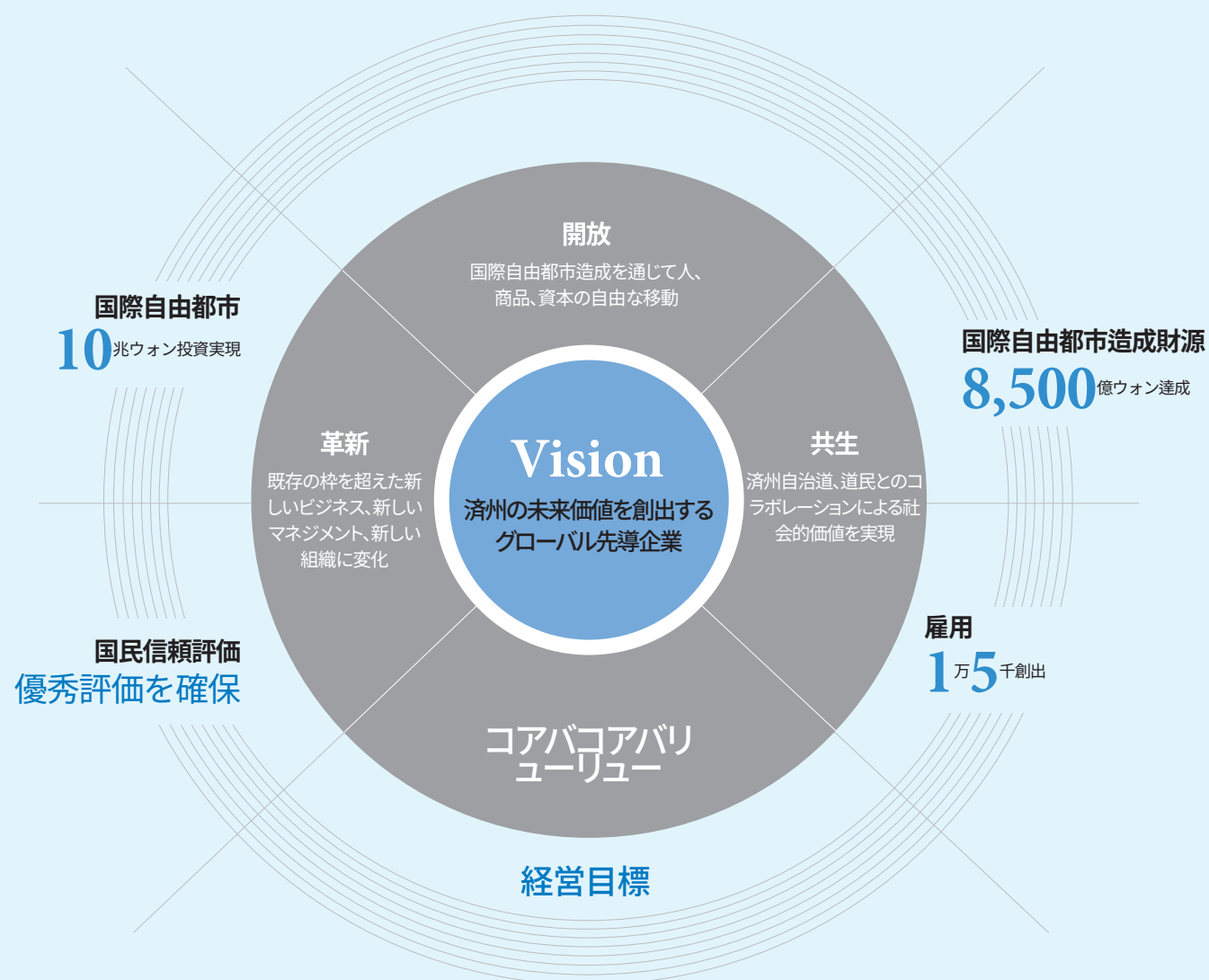
世界を — 含む

JDCは済州の未来のために 済州道民と共に努力します。

成長と共存が調和をなす済州型国際自由都市の造成を通じ
済州が国家発展の中核になるよう、公共企業としての役割と責任を果たします。
新たに始まる済州の未来、JDCが共に作ります。

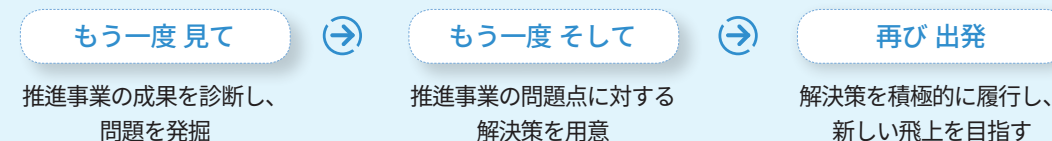
Mission

済州の価値を生み出し、成長と共存が
調和をなす、国際自由都市を作り出す

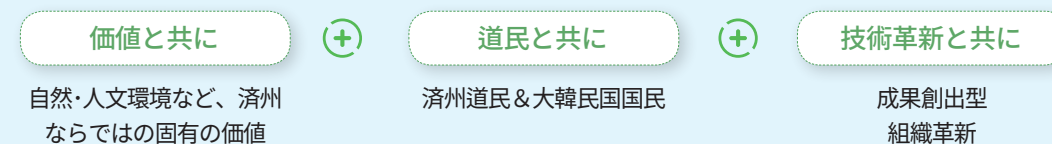


もう一度、そして共に JDC

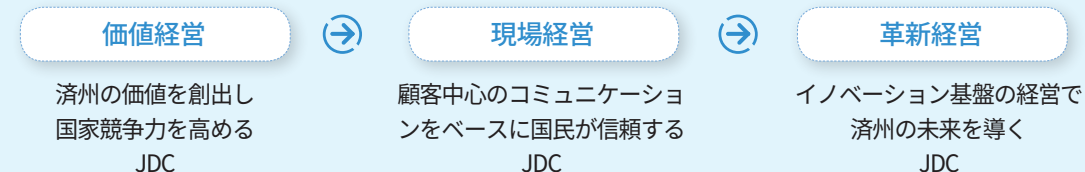
新しい気持ちで再出発します



済州と共に成長します



信頼されるJDCになります



道民と済州島、そして政府が共感し歓迎する
国際自由都市のこれらの目標を提示し、

JDCの役割と機能を再構築し、
新しい時代に備えます。



理事長 ムン・デリム

JDCの歴史は続きます

2018.12月基準

歴史は記録されます。美しい島、済州の過去、現在、そして未来は、すべて時間の中に刻まれます。JDCの時間は済州の土地と空、海、そして私たちに記憶されるものなので、JDCのプロジェクトはこれからも進化します。

JDCは済州の明日のために、先端科学、教育、観光、医療など、各分野で基盤を強化するために努力しています。

核心プロジェクトの成果(2018)



■ 先端科学技術団地

- ・ カカオなど、約130社の企業が入居
- ・ 入居企業の売上高 約3兆ウォン
- ・ 済州革新成長センターの設立、カリスト、韓芸総など



■ 英語教育都市

- ・ 4校の国際学校(NLCS、BHA、SJA、KIS)運営
- ・ 3,850人が在学
- ・ 留学収支削減効果 約5,200億ウォン



■ 神話歴史公園

- ・ 1兆9,662億ウォンの投資を実現
- ・ 複合リゾート道民雇用率 86%
- ・ 事業近隣村の企業設立支援



■ 免税店収益事業

- ・ 免税店売上高 5兆365億ウォン(累計)を達成
- ・ 収益金の全額を国際自由都市造成に再投資
- ・ 中小企業・社会的企業入店と共生協力体系を構築



■ 公共インフラ分野

- ・ セヨン橋寄付採納
- ・ コッチャフル道立公園寄付採納

社会的価値の実現

- 雇用創出、社会的経済と創業支援、安全確保に注力

- ・ 核心プロジェクト連携雇用を創出
- ・ 地域共生型 優良雇用の創出
- ・ 国内初 社会的企業免税店の入店 支援
- ・ 済州革新成長センターの造成による創業生態系を構築



投資成果(2018)

6兆3,510億ウォン

1兆5,600億ウォン・免税店収入

4兆5,153億ウォン・民間企業の投資誘致

2,757億ウォン・国費と地方費

History

START 企業の誕生

- ・ 2002.05 済州国際自由都市開発センター(JDC)設立
- ・ 2002.12 韓国人指定免税店開店
- ・ 2005.04 本社を済州に移転

JUMP 核心プロジェクトを先導

- ・ 2010.03 済州先端科学技術団地の竣工
- ・ 2011.09 国際学校 NLCS Jeju と KIS校
- ・ 2012.10 国際学校 Branksome Hall Asia校

GROW 核心プロジェクトの成長

- ・ 2012.10 JDC-中国緑地グループヘルスケアタウン事業協約締結
- ・ 2013.09 JDC-ホンコンランディング神話歴史公園事業協約締結
- ・ 2014.04 済州航空宇宙博物館開館
- ・ 2015.12 外国医療機関 保健福祉部設立承認

NEW FUTURE 未来のための跳躍

- ・ 2016.12 第2先端科学技術団地開発計画と団地の指定承認
- ・ 2017.10 国際学校 SJA Jeju校
- ・ 2018.12 済州革新成長センター設立

Be Like — JDC

済州は美しい自然とユニークな文化遺産を持つ島として、現在世界から注目を集めています。

JDCは、先端科学・教育・観光・医療分野での核心的事業と共に成長し続ける新規事業を探し出し、

済州の未来を発展させていきます。

済州の未来のため、道民と手をつなぎ歩いているJDC。

これからも済州がずっと輝けるようにさらに遠くのほうを見続けます。

JDC — らしい

済州先端科学技術団地

Jeju Science Park

済州市 寧坪洞にある済州先端科学技術団地は、情報通信技術及び生命科学を手掛ける企業が入居している産業団地です。韓国内外の情報通信及び生命科学分野における卓越な企業が入居した済州先端科学技術団地は、雇用創出だけでなく、道内の経済成長にも貢献しています。

事業案内

- ・位置 済州市 寧坪洞 一帯
- ・面積 1,098,878㎡ (約 33 万坪)
- ・事業期間 2003~2021年
- ・年事業費 5,800億ウォン
- ・主要施設 IT・BT 関連の企業、公共V・民間の研究所など

第2済州先端科学技術団地

Jeju Science Park II

済州を代表する国家産業団地に成長を遂げた済州先端科学技術団地の敷地に対する割譲が完了したにつれ、済州市 寧坪洞に第2 済州先端科学技術団地が造成されています。団地への入居を希望する企業らの需要を満たし、済州の先端産業での競争力を強化します。

事業案内

- ・位置 済州市 寧坪洞
- ・面積 848,163㎡ (約 26 万坪)
- ・事業期間 2014~2022年
- ・年事業費 2,195億ウォン
- ・主要施設 IT, BT, ET関連の企業及び研究機関(R&D) など



済州の産業と経済を導きます

済州国際自由都市 7大先導プロジェクトの一つである済州先端科学技術団地造成事業が推進され、IT・BTを中心にした済州の産業構造の高度化と、地域産業の活性化が芽生え始めました。2011年から入居が始まった済州先端科学技術団地は、JDCが保有する国内外のネットワークを活用して、入居企業の成長を積極的に支援しました。現在、済州先端科学技術団地にはカカオ、イーストソフト、デンティウム、韓国BMIなど、126の国内外の優秀企業が入居しています。2,230人の従業員が常駐し2兆9,746億ウォンの年間売上高を記録しました。2021年に竣工予定の 第2済州先端科学技術団地も済州内の産業環境を改善し、雇用創出の牽引車の役割を担うでしょう。

事業成果(2018.12)

2,230人の従業員

126 社入居

2兆9,746億ウォンの売り上げ



推進沿革

- 2011. 12 第2次済州国際自由都市総合計画策定
- 2012. 09 済州国際自由都市開発センター施行計画承認
- 2014. 05 開発の実現可能性計画
- 2015. 06 予備妥当性調査の完了(企画財政部)
- 2015. 06 産業団地開発計画に着手
- 2016. 03 第2済州先端科学技術団地の指定及び開発計画承認申請
- 2016. 12 区域指定と開発計画の承認の通知
- 2018. 12 済州革新成長センターの造成に着手



公共賃貸住宅

Public Rental Housing

JDCは、済州道民の住宅安定を支援するため、公共賃貸住宅を供給する事業を推進しています。住民の幸せと利便性を第一に考えるJDCの公共賃貸住宅事業は、道民が幸せな国際自由都市へと進む一歩になります。

幸せな住居環境を与える公共賃貸住宅

JDCは2016年1月に公共住宅事業への進出を宣言、良質の公共賃貸住宅の供給を推進しています。一番目の公共賃貸住宅は、済州先端科学技術団地内にあります。2020年の上半期までに済州先端科学技術団地内の48,972㎡ に至る敷地に公共賃貸住宅を完工し、同年から入居が始まる予定です。

事業案内

- **位置** 済州月坪洞717番地一帯
(済州先端科学技術団地 A23ブロック)
- **面積** 敷地面積 48,972㎡、建築面積 12,465.15㎡
- **事業期間** 2016~2020年
- **事業費** 1,600億ウォン
- **今後の計画** 2020年入居開始予定

住宅構成

- 産業団地勤労者や新婚夫婦、大学生など若い世代に向けた住宅402戸
- 住宅を持たない庶民に向けた1賃貸住宅(10年)391戸

推進沿革

- 2016. 02** 住居安定共同努力業務協約締結
(済州自治道、JDC、LH、済州自治道開発公社)
- 2016.05** 幸福住宅候補地選定委員会可決
(国土交通省)
- 2016.07** 基本計画樹立役完了
- 2016.12** 設計役務と建設事業管理用役着手
- 2017.06** 住宅建設事業計画の承認(幸福住宅)
- 2017.08** 住宅建設事業計画の承認(10年賃貸住宅)
- 2018.03** 住宅建設変更事業計画の承認(幸福住宅)
- 2018.03** 着工(工事期間 24ヶ月)



英語教育都市

Global Education City

英語教育都市は国際学校を中心に、商業施設・住居施設・公共施設などを備えており、東北アジア最高の教育インフラを持つ国際教育ハブです。英語教育都市では世界的レベルの教育サービスを提供し、海外留学の需要を減らし、留学収支をも削減することができます。

国際学校と住居、公共施設が複合した教育都市

JDCは主な英語圏の国の名門私立学校であるNLCS(英国)BHA(カナダ)SJA(米国)の3校の誘致に成功し、海外に留学しようとする国内の学生の足を国内に引き止めました。英語教育都市としての初めての卒業の年である2013年卒業予定者の92.9%は、英国ケンブリッジ大学などの海外名門大学に早期入学し、開校して以来の留学収支削減累計額は5,747億ウォンです。
また、社会的配慮層を対象にした奨学金制度と、英語キャンプを運営し、教育の二極化の解消をリードしています。

事業成果(2018.12)

5,236人定員

5,747億ウォン留学収支累積



事業案内

- **位置** 西歸浦市 大静邑一帯
- **面積** 3,791,000㎡ (115万坪)
- **事業期間** 2008~2021年
- **事業費用** 1兆9,256億ウォン
- **主要施設** 小・中・高が統合された7つの国際学校、英語教育センター、住居・商業施設など
- **受け入れ計画** 総 20,000人 (学生 約9000人、4,460戸)

推進沿革

- 2006. 12** 英語専用タウンの設設計画を発表
- 2007. 09** 済州英語教育都市の基本構想を発表
- 2007. 12** 済州 英語教育都市の基本方案を確定
- 2009. 06** 敷地整備工事の開始
- 2011. 09** NLCS Jeju, KIS Jeju 国際学校を開校
- 2012. 10** Branksome Hall Asia 国際学校を開校
- 2013. 09** KIS 高等学校を開校
- 2014. 07** 英語教育センター(教育部) 及び119センター
(済州自治道)を開所
- 2017. 10** SJA Jeju国際学校を開校

国際学校の紹介

- North London Collegiate School Jeju
- Branksome Hall Asia
- St. Johnsbury Academy Jeju
- Korea International School Jeju

NLCS Jeju North London Collegiate School Jeju



イギリスの名門私立学校

教育課程：幼稚園、小中高統合、男女共学ボーディングスクール
学生数：74クラス(定員 1,508 名)



2011年9月開校したNLCS Jejuは、英語教育都市初の学校で、169年の伝統を持つNLCSの初めての海外キャンパスです。イギリスの最高の私立学校であるという名声とレベルの高い授業を、そのまま具現しました。NLCS Jejuは優れた成績を生み出すイギリスの本校でのカリキュラムとIB(International Baccalaureate) ディプロマに沿っていて、教師も本校から直接選んでいます。

SJA Jeju St. Johnsbury Academy Jeju



アメリカの名門私立学校

教育課程：幼稚園、小中高統合
男女共学
学生数：68クラス(定員 1,254 名)



2017年10月開校したSJA Jejuは、1852年設立され、検証された教育プログラムと長年の歴史を誇るアメリカ本校の優れた教育課程と教育理念・ノウハウを基に運営されており、アメリカ東北部の伝統的教育を受けることができます。SJA Jejuならではの差別化された教育課程である「シニアキャップストーン」は、SJA Jejuの最高学年限定の深化過程で、生徒が自分の興味のあるテーマを選んで自ら研究し、解決方法を探すように誘導します。

BHA Branksome Hall Asia



BRANKSOME HALL ASIA

カナダの名門私立女子校

教育課程：幼稚園、小中高統合、女子ボーディングスクール
学生数：60クラス(定員 1,212 名)



2012年10月開校したBHAは、幼稚園から小学校5年生までは男女共学で、中等過程に当たる6年生から高等過程までは女子校として運営されます。BHAは、全学年で「国際バカロレア」プログラムを運営しています。特に11、12学年(高校2年・3年)では英語・経済学・社会学・物理学・人文科学・実験科学・視覚芸術などの科目を学ぶ国際的に公認された教育課程である「IBディプロマ」プログラムを運営しています。

KIS Korea International School Jeju



韓国初の公立国際学校

教育課程：幼稚園、小中高統合
男女共学
関連学校：KIS 板橋
学生数：小中学校 21クラス(定員 782 名)
高等学校 20クラス(定員 480 名)



2011年9月開校したKISは、済州道教育庁が設立し、(株)YBMが運営に参加している韓国初の公立国際学校です。アメリカの学校評価機関であるWASCから許可を得て、アメリカ式学制と教科過程により運営されています。

ヘルスケア タウン

Healthcare Town

ヘルスケアタウンは、健康とヒーリングに対する現代人の高いニーズを満たすことができる複合医療観光団地です。済州の美しい自然環境の中で、特別な世界の医療サービスを提供するヘルスケアタウン ヒーリングヒルズは、国内医療産業と医療観光の活性化を目指しています。

済州に現れた新成長動力、ヘルスケアタウン

近年、アジア地域の医療観光産業が成長し、観光市場を先取りするための競争が熾烈に繰り広げられています。韓国政府は2008年の医療観光産業を17大新成長動力産業に指定し、同年JDCは複合医療観光団地であるヘルスケアタウン造成事業を開始しました。2016年 9月に基盤施設工事を終え、完成度の高い医療観光インフラを構築するために努力しています。

ヘルスケアタウンは、済州島の医療サービス需要を満たすだけでなく、医療観光関連の各種セミナー、学会などの国内外のイベントを誘致するなど、韓国の医療観光の中心地として運営される予定です。



ヘルスケアタウン ヒーリングヒルズ



国 事業案内

- ・位置 西帰浦市ドンホン洞、トピョン洞一帯
- ・敷地 1,539,339㎡(約47万坪)
- ・事業期間 2008～2021年
- ・事業費 1兆 5,674億ウォン(公共機関2,180億ウォン、民間1兆3,494 億ウォン)
- ・主要施設 医療、R&D 施設・商店街・宿泊施設、レクリエーション・文化施設、スポーツ・娯楽施設、公共・便益施設など
- ・交通と立地
 - 済州国際空港から車で約50分
 - 西帰浦市の中心から約5kmの距離に立地
 - 背後に漢拏山国立公園、前面には西帰浦市と七十里海岸を望むロケーション
 - 天地淵・正方滝、セソッカク・トンネコ遊園地、中文観光団地などの有名観光地に近接

期待される効果

・経済的波及効果



・雇用誘発効果



◎ 推進沿革

- 2006.12 済州国際自由都市総合計画の新規中核プロジェクト確定および 告示
- 2009.12 開発事業施行承認、事業施行者の指定及び実施計画認可告示
- 2010.11 済州投資振興地区指定
- 2011.12 敷地造成工事着工(2016.09 竣工)
- 2012.10 JDC-中国緑地集団 事業協約締結
- 2012.11 緑地集団 1段階事業休養コンドミニアム建設工事着工(2014.08 竣工)
- 2014.10 緑地集団 2段階事業(ヒーリングタウンなど)建築工事着工
- 2015.12 外国医療機関(緑地国際病院)設立 保健福祉部承認(2017.07 竣工)

神話歴史公園

—
Myths and History
Theme Park

村、谷、峰、海岸にそれぞれの神話と伝説が宿っている済州。JDCは18,000に及ぶ神の話をはじめ、済州の神話、伝説、歴史を観光資源とする神話歴史公園造成事業を推進しています。

東洋と西洋の神話を楽しめる複合観光団地

2021年のオープンを目指し、西帰浦市安徳面一帯 3,9865,601㎡(約121万坪)に造成される神話歴史公園は、済州、アジア、ヨーロッパなどの伝説、神話、歴史をテーマに造成されます。

A、R、H地区は外資誘致(ラムジョン済州開発)によりテーマパーク、ホテル、MICE施設などの複合リゾート(済州神話ワールド)で、JDC が直接推進するJ地区は済州神話をテーマにした文化テーマパークとして造成します。

国 事業案内

- 位置 西帰浦市安徳面西広里一帯
- 面積 3,985,601㎡(約 121万坪)
- 事業期間 2003～2021年
- 事業費 3兆1,645億ウォン
- 立地環境
 - 済州国際空港から約40分、中文観光団地から約15分
 - オソルロク、翰林公園、山房山など、近隣の観光地や、英語教育都市が隣接し、活性化が容易

事業成果(2018.12)

2,065人 直接雇用発生



1兆9,662億ウォン
投資誘致実現



推進沿革

- 2006.12** 開発事業施行及び観光団地造成計画承認
- 2007.12** 敷地造成工事着工
- 2009.12** 済州投資振興地区指定
- 2012.03** 敷地造成工事完了
- 2013.09** A、R、H地区、香港ラムチョングループ事業協約締結
- 2015.02** A、R、H地区建築工事着工
- 2016.12** J地区済州神話伝説'シンナラクマンナラグ'探訪路開場
- 2017.04** A、R、H地区複合リゾート1段階開場・運営
- R地区・コンドミニウム(2017.04)、A地区テーマパーク(2017.09)、A地区ホテル・MICE(2017.11)



J地区

1,465,972㎡

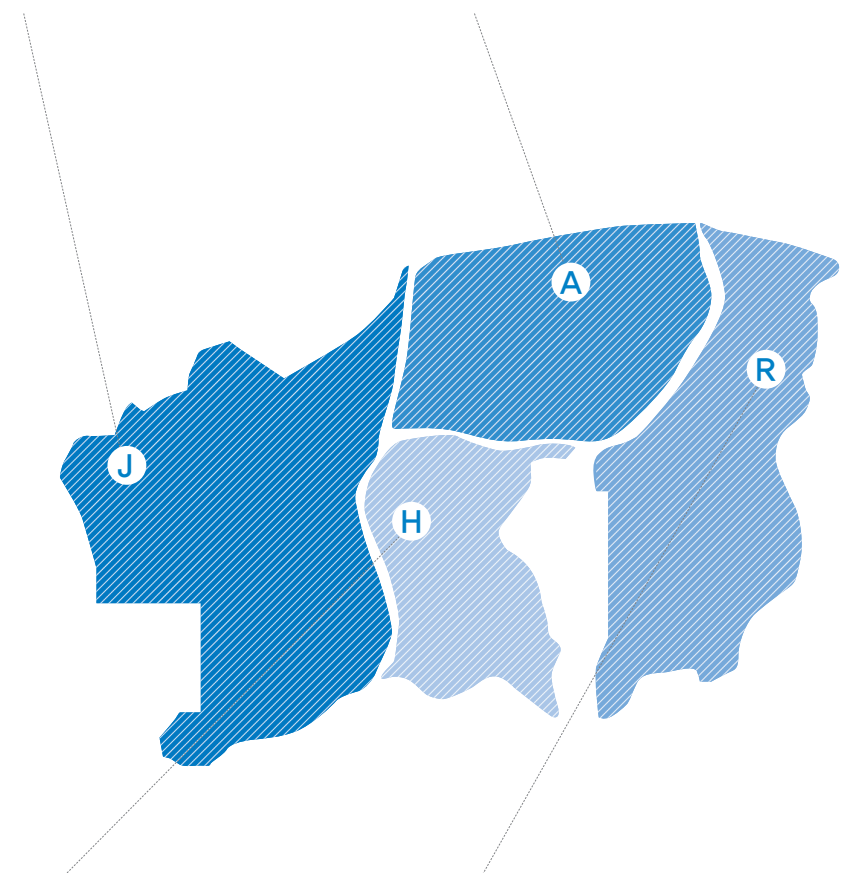
済州特有の文化遺産である神話と歴史をテーマに、自然・文化環境にやさしいテーマパークを造成



A地区

895,984㎡

世界のさまざまな神話や文化を体験できるテーマパーク、コンベンション、ホテルなどを備えた複合リゾートの造成



H地区

597,928㎡

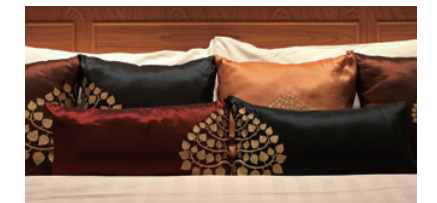
ヨーロッパの広場文化を取り入れ、グルメ・公演・芸術文化を体験できる休養・文化施設と地中海・スペイン・中世ヨーロッパの建築様式をモチーフにしたヨーロッパアンテマストリートのリゾート造成



R地区

1,025,715㎡

韓国・日本・中国・トルコなど東洋の歴史文化を味わえるテーマストリート及びヒーリングリゾート造成





国際化事業

Internationalization Project

済州は特色ある地理的条件に固有の文化、美しい自然を保ち、海外と国内を網羅する観光の橋頭堡の役割を担ってきました。JDCは済州が世界的な観光地や文化交流の場として生まれ変わることができるよう、グローバルな人材の育成とグローバルネットワークを拡大していきます。このように国際業務能力を強化し、国際機関とグローバル企業、海外の先進技術企業と人材を誘致します。急変する世界環境に能動的に対処し、地域と国の発展のために新しい価値を作っていきます。



事業期間
2018～2021年
(継続事業)



事業費
総1,010億ウォン



スマートシティ実証団地

Smartcity Complex



情報通信技術を家庭と都市のセキュリティ網を構築するスマートシティは、個人の、そして都市の競争力を向上させます。JDCはスマートシティ実証団地にてスマートシティの技術を研究・検証し、技術が都市に安定的に適用されるよう支援します。



面積
300.000㎡



事業期間
2018～2022
(段階別)



事業費
総2613億ウォン

アップサイクリングクラスター

Up-Cycling Cluster



現在は、資源を循環させ継続させることができる発展こそが、経済成長の新たなパラダイムになりました。それで、廃棄物を再利用して資源を節約し、生産性を向上させることの重要性が注目を浴びています。JDCは資源の循環施設を立て、済州内の廃棄物を安定的に処理し、文化と循環施設が一つになった活気に満ちた空間を作る予定です。



面積
100,000㎡



事業期間
2018～2023(段階別)



事業費
総981億ウォン



電気自動車 エキシビジョ ン団地

Electric Automobile
Model Complex

済州は「炭素のない島」になるため、努力しています。JDCは電気自動車のエキシビジョン団地を作り、関連企業と共に技術研究団地を作ること、韓国の電気自動車産業の成長の踏み台を構築しようとしています。

電気自動車は自然環境と先端技術が共存する付加価値の高い産業で、低炭素グリーン成長の代表であり、済州の「カーボンフリーアイランド2030」政策を支える必須要素です。済州全域で電気自動車が安定して動けるように、効率を上げ、継続的に管理します。

			
位置 第2済州先端科学技術 団地内	面積 240,000㎡	事業期間 2018～2022年	事業費 約460億ウォン (第2済州先端科学技術 団地事業費に 含まれる)



ドローン事業

Drone Project



ドローンは世界から注目を浴びる4次産業革命のコア技術です。JDCは観光客と一般の人がこのようなドローンを体験したり勉強することのできる専門教育機関とドローンに関する新規事業をテスト運営し、ドローン関連のインフラを造成しようとしています。

		
面積 100,000㎡	事業期間 2018～2021年 (以後2段階で拡張)	事業費 総400億ウォン

先端農食品 団地

High-tech Agri-food
Complex



風と水、日差しが豊富な済州は、韓国内でも農業の占める比率が非常に高い地域でもあります。JDCは先端農食品団地により、済州の農業を活性化し、1次産業の競争力を向上させようとしています。

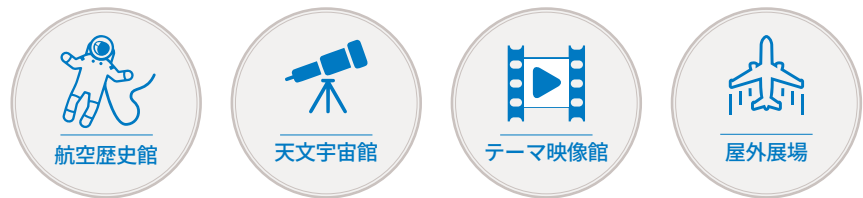
	
事業期間 2018～2023年 (段階別)	事業費 総1,665億ウォン



濟州航空宇宙博物館

Jeju Aerospace Museum

2014年開館した濟州航空宇宙博物館は、航空宇宙科学の体験教育を中心とする博物館で、韓国内外の主要科学館・博物館と業務提携をし、継続的にプログラムを開発したり新規事業を誘致することで、優秀な教育・文化施設に発展しています。ドローン、アルディーノ、3Dプリンターのような先端機器を体験し、世界航空の発達の歴史、様々な航空機の模型、実物の航空機とエンジン、航空機の構造と飛行の原理、宇宙の展示物、韓国戦争に関する歴史的遺品などを観ることができます。



利用案内



位置 西歸浦市安徳面西広里緑茶盆栽路218
構成 屋内展示館(1階・航空、2階・宇宙)、体験・映像館、野外展示場、展望台、飲食店及び商業施設(1、3階)など
観覧時間 毎月第三月曜日休館(8月休館日なし)
1～12月 09:00～18:00/夏季 09:00～20:00まで延長運営

入場料	区分	個人	団体(10人以上)	備考
	大人	10,000	9,000	満19歳以上～64歳以下
	青少年・軍警	9,000	8,000	青少年：満13歳～満18歳
	子供・敬老	8,000	7,000	子供：3歳～満12歳



JDC指定免税店は、濟州国際自由都市を作るため安定的に財源を稼いで、より高い競争力を持つ国際自由都市・濟州を目指すために設立されました。
濟州を訪ねるすべての人に免税商品を提供していて、収益は全部濟州国際自由都市を作るために投資されます。



利用案内

対象 飛行機や船で濟州以外の地域に行く全ての韓国・外国人の顧客(年齢制限なし)

- ・本人を確認できる身分証明書と搭乗券を提示 (外国人の場合、パスポート使用可能)
- ・携帯電話が本人の名義になっている場合 → 本人を確認した後に購入可能
- ・19歳以下の利用法(たばこや酒類は除く)
 - 国家公認の身分証明書を提示(パスポート・青少年証など)
 - 身分証明書がない場合、家族関係証明書、住民登録簿本などの身分を証明できる書類を提示

JDC指定の免税店

JDC Duty Free Store

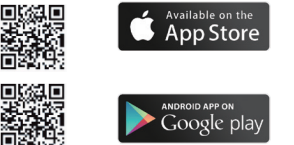
購入制限

JDC指定免税店とJTO指定免税店での購入実績を合わせた金額内で購入可能



JDC免税店の公式アプリ

免税・割引情報をリアルタイムで確認、濟州旅行の情報・グルメ情報



濟州に — 似ている

Resemble — Jeju

濟州の美しい自然と無限のポテンシャルを基に成長したJDCは、丈夫な一本の木が持つ力を知っています。木は、暑い太陽の下で涼しい休み場を作り、青い葉っぱで人々に希望を与えます。他人と分かち合うことは、荒れた心に一本の木を植えるのと同じです。

私たちは誰からも関心をもらえない人々や村の住民たちと共に生き、青年の未来を支え、幸せな濟州を造成するために最善を尽くしてきました。一つ一つの爽やかな木が集まり、盛大で豊かな森を造成することを、JDCが先導します。



済州の明日を夢見る価値実現プラットフォームであるJDCは、社会的責任経営を通じて共に価値を実現します。

美しい同行、JDCが共に参ります。

JDCは社会的責任の義務がある公企業で、済州の価値向上はもちろん、道民の幸福のための社会貢献活動を進めてきました。済州国際自由都市造成専門機関として、地域社会の明日のために貢献します。

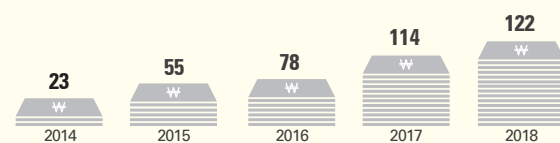
社会貢献プログラム数 (2018)

約**40**件

社会貢献受益者数 (2017)

46,698人

社会貢献事業年度別予算の推移 (単位:億ウォン)



With Dream 人材育成プロジェクト

済州を越え、世界の舞台を見つめます

外国語学習プログラム、海外インターンシップと連携教育を支援し、潜在能力を向上させ、より広い世界に進むことができます。

With People 優しい経済プロジェクト

地域共同体の同伴共生を考えます

地域共同体の自生力強化と経済の活性化のために済州型地域共生事業を推進し、地域の雇用を創出します。

With Love 愛の分かち合いプロジェクト

児童・青少年・障害者・多文化家庭と共にします

道内の福祉の死角地帯を見つけ、実質的な支援を行い、分かち合いの価値を伝えます。

With Culture 文化あふれるプロジェクト

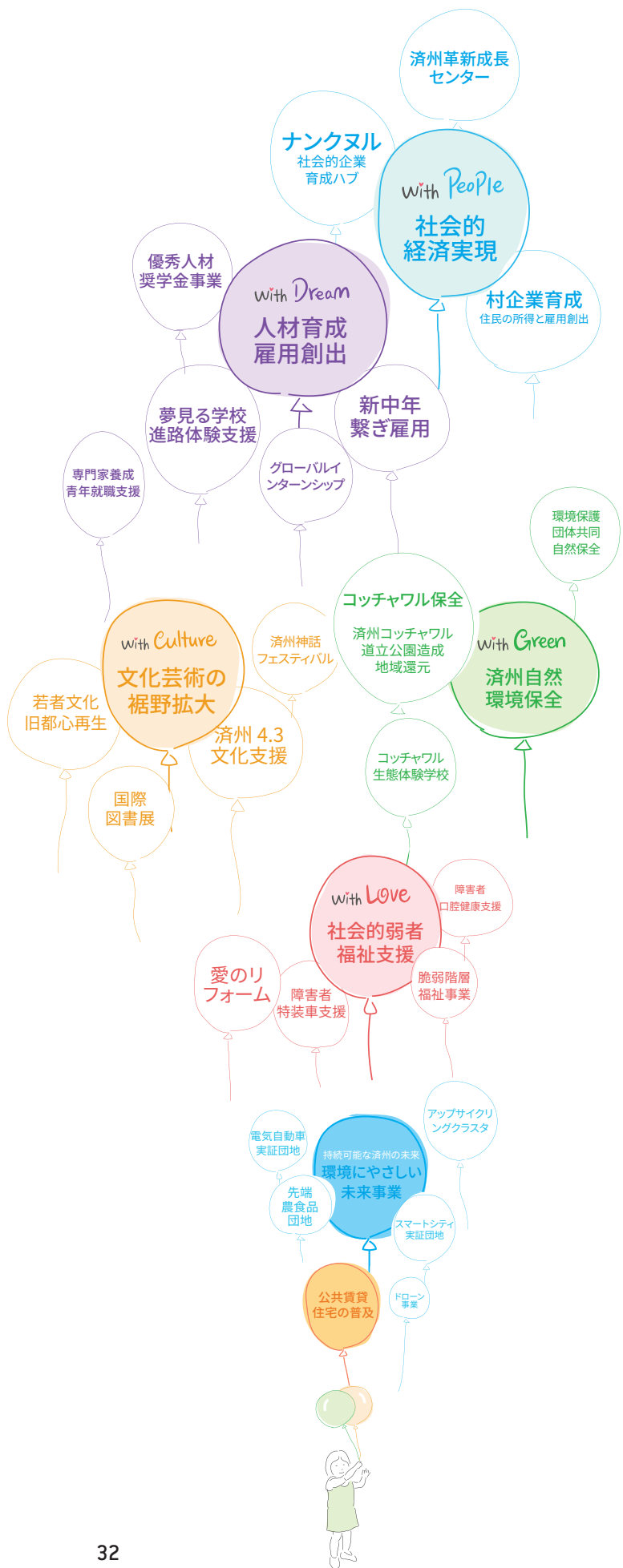
済州固有の文化遺産の価値を繋いでいきます

済州固有の文化と伝統を保存し、新しい文化との調和をなす融合を支援し、済州だけの特色ある文化の価値を伝えます。

With Green 緑の済州プロジェクト

済州の美しい自然を保存します

低炭素グリーン済州助成事業を通じて、済州固有の環境資源を保護し、その美しさを伝えます。



With Dream 人材育成プロジェクト

東北アジアのハブであり、素晴らしい観光地として注目を浴びている済州。世界の人々と意見を分かち合い、より良い国際社会にするため、済州とJDCは常に最善を尽くしています。JDCは道民のグローバル化の能力を向上させるため、年齢に合わせた教育を提供し、様々な外国語学習プログラムを運営することで、済州の青年が地元を超えて世界で活躍できるように支えます。



仕事の支援

- ・道民に外国語及びグローバル化教育を受けさせ、個人・投資企業への就職を希望する人に競争力を向上させます。
- ・年齢に合わせた教育・メンタリングプログラム、海外留学及びインターンシップの機会を提供します。
- ・グローバル人材のための仕事援助、投資企業との人材養成の提携、青年人材養成の共同事務局の運営、国際医療コーディネーターの養成など

中高生向けの外国語キャンプ

- ・外国語でのコミュニケーション能力とグローバルマインドを身に付け、個人のポテンシャルを向上させます。
- ・英語・中国語のキャンプや講演、ネイティブ教師との体験アクティビティなどの機会を提供します。
- ・サランナム外国語キャンプ、レインボー英語キャンプなど

JDC アカデミー

- ・済州の文化遺産と人文学に関する講演を通じて済州を理解させ、市民意識を向上させます。
- ・現場で聞くストーリーテリング形式の済州探訪及び教養人文学の講演を誘致します。
- ・グローバルアカデミー、済州文化探訪路上ライブアカデミー、大学生アカデミーなど

グローバル海外就職支援事業

- ・グローバル海外就職支援
- ・グローバル海外インターンシップサポート
- ・グローバル優秀人材奨学事業
- ・夢見る奨学生事業
- ・夢見る学校事業
- ・特性化高校未来人材育成事業
- ・国際学校英語キャンプ
- ・愛の分かち合い外国語キャンプ
- ・スマートリスニング英語教育支援
- ・JDC アカデミー
- ・ドリームアップ探訪キャンプ

With People 優しい経済プロジェクト

済州の食べ物と見ものとエンターテインメントは、町に対する地元の人々の愛に満ちた心で作られています。JDCは済州がより強く健康な地域共同体になれるよう、住民を中心に村共同体を作り、新しい仕事を生み出す事業を運営しています。村に新たな価値を与えて住民の収益構造を改善し、自らの生命力を向上させるようにサポートします。

コミュニティビジネス (JDC村共同体ビジネス)

- ・村の特性と資源、そしてアイデアを組み合わせることで地域のユニークな事業へと拡大します。
- ・ビジネスの各ステップごとに専門家がコンサルティングを行い、住民に教育を提供します。
- ・ピョルナンカゲカフェ、みかん倉庫カフェ&ゲストハウス、コンソソイネ食堂、アルトゥル農夫市場、新活用創作所など

中年の新しい仕事支援

- ・済州に住む中年の社会経験と熟練された能力を活用して価値を生み出します。
- ・済州の高齢者人口が増えることで生じた仕事の問題を解決します。
- ・環境・文化観光・福祉など、5つの分野の事業を発掘して就職に繋がります。
- ・職種：オルムマネージャー、フードメッセンジャー、路上ライブ公演団、図書館の司書、仕事支援団など

事業内容

- ・コミュニティビジネス事業(村共同体事業)
- ・社会的経済組織支援事業 (「ナックヌル」ソーシャルベンチャー支援事業)
- ・新中年繋ぎ雇用支援事業
- ・農振興基金支援
- ・JDC 社会貢献アイデアコンペ
- ・学校環境改善事業



With Love 愛の分かち合いプロジェクト

みんなが幸せな済州を造成するため、JDCが愛を分かち合います。目の届かないところにいる道民の生活をきっちり眺めて、たくましい居場所を造成します。生活に苦しむ人々の痛みを目を向ける温かい分かち合いによって、JDCが蒔いた種が香り豊かな花となり、幸せな済州を造成します。



障害者の入れ歯補綴支援事業

- ・済州特別自治道歯科医師会 - 済州特別自治道障害者総連合会協約事業
- ・道内65歳未満の低所得層障害者対象の無料口腔検診と歯補綴施術支援
- ・障害の特性に応じた治療のために2018年からインプラント治療の支援を新規追加

JDC小さな図書館支援

- ・済州の児童センター内に小さな図書館を設置
- ・低収益家庭の子どもたちに自己開発の機会を与え、教育の差を減らす
- ・厳しい地域児童センターの環境を改善し、社会福祉施設に質の高い支援

JDC分け合いボランティアチーム

- ・JDC 役員が自ら社会ボランティア活動実施
- ・IT、自然、文化など、様々な分野でのボランティア

事業内容

- ・障害者入れ歯補綴支援
- ・JDC 分かち合い図書館
- ・愛のリフォーム
- ・社会福祉施設慰問
- ・障害者特装車支援
- ・多文化家庭と共にラブイン済州
- ・脆弱階層への物品支援
- ・奇跡の手紙
- ・済州有望株ソウル文化体験活動
- ・支援協力事業支援と協賛
- ・JDC トゥリムナム奉仕団
- ・JDC グローバル身体障害者スポーツ人材育成支援事業

JDCは済州のユニークな文化を保存すると同時に色んな国々の文化と調和させることによって、済州国際自由都市の名に相応しい文化を作るために最善を尽くしています。また、済州の悲しい歴史を忘れないための努力もしています。



JDCグローバル文化祭り

- 済州に住む外国人・多文化家族、そして投資会社が共に交流する場をもうける
- 公益の文化コンテンツを提供し、済州の文化価値を向上、済州がグローバル文化を持つための足場を作る

4.3 文化支援事業

- 済州の歴史の痛みを、和解・共生・平和・人権の未来価値に昇華させた文化行事で、国民の認識を高める
- 光化門パフォーマンスで4.3のメッセージを伝え、全国の主要都市に大衆的な追悼と空間造成

事業内容

- アルトゥル平和公園造成(済州ビエンナーレ)
- JDC地球村フェスティバル開催
- 国際図書展開催
- 4.3文化支援
- 済州国際吹奏楽祭支援
- UCLG 青年文化プログラム支援

一つ一つの木が集まり森になるのと同じように、JDCは済州特有の自然を大切に思います。低炭素グリーンの済州を造成するため、皆が一体となってボランティア活動に参加し、恵まれた自然とその価値を守っていきます。



加波島森を作る

- 緑の済州を造成する
- JDC分け合いボランティアチームと連携して植物を植える

済州コッチャウル道立公園の広報活動を支援

- 済州自治道に協力して広報活動を支援
- 4ヵ国語の広告資料を作成、仁川国際空港・金浦空港内で広告することで継続的に広告する予定

事業成果

- 加波島森:約 2万本の黒松・花樹 を植える
- 済州コッチャウル道立公園を造成、寄附採納も完了

事業内容

- 加波島緑の森づくり
- 済州コッチャウル道立公園広報事業
- 環境公募事業支援
- グリーンワーキングフェスティバル支援

夢のようなチャンス、たくさんの人に知ってほしいです。

済州大学 カン・セヨン学生
大学生の海外インターンシップ事業



“漠然と交換留学を考えていた中でJDCインターンシップを知りました。プログラム内に英語、面接ノウハウ、海外の大学授業などが含まれていて、インターンシップに入る前からたくさんのトレーニングを受けました。世界的に有名なディズニーワールド

で働いて給料ももらい、他国の学生たちとも仲良くなれて、本当に幸せでした。大学生ならではの挑戦してみたいでしょう!”

30年間働きましたが、今でも楽しいです。

S 病院の小さな図書館 ジョン・ウソク司書
新中年繋ぎ雇用支援事業



“司書として30年以上働きました。定年を迎えて図書館で本に接することはもうないと思いましたが、JDCから新たな機会をもらいました。本を探して渡すときに微笑んでもらうと、今でもうれしいです。自分が専門としてやっていたことを絶えずにずっと

と出来るということにもやりがいを感じます。50代～60代のために仕事を作ってくれるこの事業がずっと続くことを願っています。”

カザフスタンではなく、済州で両親に会えました

多文化家族支援センター アイナグリー
ラビン済州(多文化家庭支援事業)



“カザフスタンから済州に来て早くも4年が経ちました。生活が苦しくて両親を韓国に招待することが出来ませんでした。私の事情を知ったJDCから援助をもらい、両親と済州でいい思い出を作ることが出来ました。父が、私と夫の手を握りながら大

きく笑ってくださった姿が、今でも心に残っています。JDCの多文化家庭への支援がなかったら、そのような両親との大切な思い出は作られなかったはず。”

済州の文化コンテンツ開発の灯となります

済州道立美術館 キム・ジュンギ館長
済州ビエンナーレ



“済州道立美術館は、済州ならではの芸術コンテンツを展示することで、済州の文化の発展に貢献しようという目的を持っています。私たちは昨年、JDCと共に芸術と行政、済州道民が一つになれる済州ビエンナーレを開

催し、観光をテーマとして様々な芸術イベントを行いました。済州道立美術館は、これからもJDCと共に済州の観光・文化の新しいパラダイムを作り、済州の歴史・海・科学・農業などに関する様々な芸術コンテンツを披露します。”

投資及び 事業環境

ユネスコから3つの分野で自然遺産として指定され、世界7大自然景観として選定された済州は、恵まれた自然と独特な文化を持っています。JDCは済州ならではの自然・文化・人の価値を発展させ、済州が本物の「国際自由都市」に生まれ変わるように、先端事業・教育・観光・医療・清浄事業などに投資と支援を行っています。無限のポテンシャルを持っている済州で、JDCと共に理想のライフスタイルとビジネスの成功を手に入れてみてください。

500万人以上の国内外の18都市に隣接

- 📍 人口 1,000万人以上の都市
- 人口 500万人以上の都市

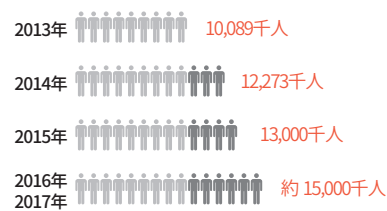


済州国際自由都市の一般現状

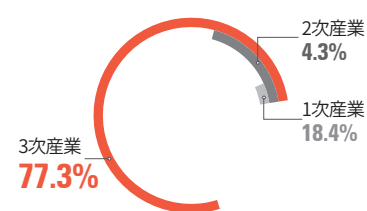
UNESCO指定の生物圏保護地域 (2002)
世界平和の島に指定 (2005)
済州特別自治道の登場 (2006)
UNESCO 世界自然遺産搭載 (2007)
UNESCO 世界地質公園認証 (2010)

人口 68万人
面積 1,848.8k m² (全国土の 1.8%)
気候 四季がある亜熱帯の海洋性気候
総生産 16兆 9,106億ウォン

観光客の変化



産業構造



投資及び 事業アドバンテージ

済州は独自の特別法を基に他の自治団体とは差別化した制度を運営しています。韓国内外の企業が済州に安定して留まるよう、租税減免や資金の支援を行っており、ビジネスに役立てるよう、各種の投資のアドバンテージを提供しています。

開発事業の際、各種の認可の手続き軽減

開発事業を実施しようとする承認を得なければならない場合、草地法、山地管理法など関連法律上の許可、認可、指定、承認、協議、申告などを受けたことにより開発の手続きを軽減。

投資振興地区のベネフィット

- 韓国で唯一、韓国人・外国人に同様の租税減免実施
- 各種の税引き及び国有・公有財産の特例適用
- 済州の核心産業育成のための差別化されたベネフィット付与

グローバル化のため医療環境を改善

- (済州特別法及び済州特別自治道保健医療の特例)
- 外国医療機関を開設を許可
- 外国の医師、薬師免許を持つ者が外国人の開設する医療機関や専用の薬局で働くことを許可
- 外国医療機関に患者を紹介・斡旋する行為を許可

首都圏企業の地方移転を支援

- 国税(法人税、所得税)と地方税(取得税、登録税、財産税)などの租税を減免
- 国家均等発展特別法による資金の支援
- 起業及び競争力強化のための資金を支援

船舶登録特区のベネフィット

済州に属する港を船積み港とする船舶と一定の外国船舶に対して収録税・財産税・共同施設税・地方教育税及び農漁村特別税など、登録税を除いて様々な税金を減免する

外国人のイミグレーション管理制度改善

- 世界180カ国に、観光または経由目的の場合、ビザの免除
- 済州国際自由都市の開発に関する専門家に滞在期間を5年までにする(再延長可能)

外国人投資地域&投資会社への支援強化

- 外国人の投資を増加させるための行政・財政的な支援及び便利なサービス提供
- 外国人投資地域を団地・個別型に分け、様々な税引き制度実施
- 外国人投資地域の地方税を15年間100%免税
- 民営住宅の10%以内の範囲で、居住地を持たない外国人向けの住宅の供給制度実施
- 外国人投資会社に国家有功者及び高齢者を義務的に雇用特例適用
- 国家有功者及び高齢者を雇用する場合、1人の新規雇用に対して月100万ウォン(最大6ヵ月)の補助金支給

Development

Internationalization

Service

Support

Industry



済州の隅々からの小さな願いが集まり、
大きな希望となります。

人と人、自然と人が共に成長し、
互いに調和する島、済州。

済州の趣と美しさをそのまま保存し、
未来への期待はより豊かに持ち、
済州は済州らしく、未来を描きます。

綺麗な済州の風景を、JDCが造成します